

NORTHERN
Horse Park
NEWS RELEASE
ノーザンホースパーク ニュースリリース



報道関係各位

2025 年 10 月 15 日

自然の香りと彩りを楽しむ癒しのフラワーアレンジメント
「梅木あゆみのクリスマススワッグ&フレッシュリース教室」
開催のお知らせ

2025 年 11 月 28 日 (金) ～ 11 月 29 日 (土)

株式会社ノーザンホースパーク(所在地:北海道苫小牧市 代表者:代表取締役 吉田 勝己)が運営する、北海道の大自然のなか、馬とのふれあいを楽しめる自然公園「ノーザンホースパーク」は、「Brilliant Moments～輝く^{ひととき}時間」をパーパスにサービスを提供しています。このたび、ボタニカルガーデンの植物を使用して伝統的なクリスマス飾りを作る「梅木あゆみのクリスマススワッグ&フレッシュリース教室」を2025年11月28日(金)、11月29日(土)に開催します。



ガーデンデザイナー・梅木あゆみ氏を講師に迎え、17回目を迎える本イベントでは、植物とともに過ごす豊かなひとときをお届けします。

午前の回では、ヨーロッパで魔除けや幸福を呼ぶ飾りとして親しまれる「スワッグ」づくりを体験。フレッシュ素材とドライ素材からどちらかを選択、または両方を制作できます。

午後の回では、毎年好評の「フレッシュリースづくり」を開催します。針葉樹や木の実などの自然素材を扱い、まるで森の中にいるような清らかな香りに包まれて、伝統的なリースを手づくりします。

梅木氏の丁寧で温かなレクチャーにより、初めての方やお子さまも安心してご参加いただけます。世界にひとつだけのスワッグやリースを通して、植物とともにある心豊かなホリデーシーズンをお楽しみいただけます。

ノーザンホースパークでは今後も「Brilliant Moments〜輝く^{ひととき}時間」をゲストの皆様にご提供すべく、豊かな自然環境を守り、人と馬がともに生きる持続可能な日本の社会と、馬事文化の発展に貢献すべく運営を行ってまいります。

◆イベント概要

【日 時】 2025 年 11 月 28 日（金）～11 月 29 日（土）

① 10：00～12：30（スワッグ：フレッシュまたはドライ、または両方）

② 13：30～16：00（フレッシュリース）

【会 場】 K's ガーデン

【定 員】 各回 12 名（予約制）

【料 金】 全て税込み、同料金で材料のみの購入も可能

- ・スワッグ（フレッシュまたはドライ）：各 4,500 円
- ・スワッグ 2 種セット（フレッシュ＋ドライ）：8,000 円
- ・フレッシュリース：7,000 円

【持ち物】 ラジオペンチ、枝切り用のはさみ

【服 装】 汚れてもいい服装でお越しください ※ニット、フリース素材はドライフラワーが付きやすいのでご注意ください。

【特 典】 レストラン 500 円サービス券プレゼント ※割引券は当日限り有効です。

（レストラン ディアド ブエナビスタ、パラッツォ・ベガ ポニー館スーベニアショップのパン購入にご利用いただけます）

※当日の教室受付でお渡しいたします。午後の教室に参加される方で特典を利用される場合は 12：30 までに受付をお済ませください。

【予約受付開始】 2025 年 10 月 18 日（土）9：00～

【ご予約・お問い合わせ】 ノーザンホースパーク クリスマススワッグ&リース教室担当

TEL 0144-58-2116

受付時間 9：00～17：00 ※11/6（木）～は 10：00～16：00

◆ガーデナー 梅木あゆみ氏について



1995 年、生産直売店「コテージガーデン」を起業。年間を通し 2,000 品種以上の植物苗を生産し、札幌市百合が原公園ガーデンショップ売店も経営。国営滝野すずらん丘陵公園、層雲峡温泉から個人庭園などの企画・設計・工事・管理を行う。2009 年度北海道「輝く女性のチャレンジ賞」、2010 年度内閣府「女性のチャレンジ賞」受賞。2020 年コテージガーデン代表を退任し、「あゆみデザイン」開業。

◆ノーザンホースパークについて

馬の魅力を伝え、日本の馬事文化の発展に貢献することを目的に 1989 年 7 月に開園しました。北海道の雄大な自然と馬の魅力を伝え「輝く時間^{ひととき}」を皆様にお届けすべくテーマパークを運営しています。総敷地面積 48 万平方メートルという広大な敷地に約 80 頭もの馬がゲストを出迎えています。競走馬生産育成牧場のリーディングファームであるノーザンファームを母体とし、北海道のサラブレッド生産の歴史や馬の生態を学べる資料館など「楽しむ」だけでなく「学べる」プログラムも展開。また開園以来、引退競走馬のセカンドキャリア支援や馬の排泄物を利用した堆肥の活用など、事業に基づいた持続可能な社会を目指した取り組みも行っています。